



し しん かい 志真会 会報

2023 5月発行

滑川市議会議員

令和5年度が始まり、1ヶ月あまり経ちましたが、皆様、新たな年度をどうお過ごしでしょうか。我々志真会は、本年度においても皆様の声を聴き良い街づくりするとともに政策提言をしていきますので、今後ともどうぞご支援を賜りますようお願い申し上げます。さて、市議会におきましては、3月度定例議会にて令和5年度の当初予算を議案通り、全会一致で可決しました。この予算を市民の皆様にご知っていただくことと、予算が議案通り執行されているのかチェックすることは、私たち市議会議員の仕事の一つであります。その一部を紹介します。

令和5年度予算は、**一般会計 125 億 6,584 万円**（前年度+8,442 万円 +0.7%）となりました。特徴として市は3つ掲げています。

1. 安心して子育て・教育ができる環境のさらなる充実「子育て応援宣言」
 2. デジタル技術等の活用による住民サービスの向上や新たな価値の創出
 3. 市政施行 70 周年を祝し本市の更なる飛躍の機会として各種記念事業の実施
- それぞれの主な新規事業は、下記の通りとなっています。

◎子育て応援宣言

第1子の0歳から保育料半減（第2子以降は継続の完全無料化）3,940 万円

会派内では、出生率を上げるのであれば他の支援を考えるべきではないかとか、保育所等に預けず家庭で子育てしている世帯に対しても支援すべきという意見も出たが市としては本年度行ってみた上で今後の支援を考えたいという事でした。

厚生連滑川病院の小児科診療日の増枠に関わる補助金 765 万円

これまでは、火曜・金曜のみの診療であったが本年度から月曜 AM・水曜 AM が増枠するための補助金です。開業医の小児科医院との折り合いがついているという事であり、市民への周知を徹底するという事で賛成とさせていただきました。

◎わかりやすいDXの推進

デジタル専門人材の登用（都内IT関連企業からの人材派遣）1,000 万円

内閣府の「地方創生人材支援制度」を利用し民間企業からDX推進に長けている人材を派遣していただく費用であり、1,000 万円のうち 560 万円が国の特別交付金を活用するものであります。2年間、㈱フォーバル様の派遣により、庁舎内のDX推進や市内企業へのDX支援等を行っていただくこととなっており、既に4月1日より、新設されたDX推進課の課長として着任していただいています。

◎市政70周年

記念式典（11月1日）、記念講演（11月4日）開催費 1,160 万円

本年度は滑川市制70周年であり11月1日に市政功労者の表彰等の記念式典（810 万円）を行い、11月4日に本市出身の室井滋さんと富山市出身の西村まさ彦さんとのトークショー and 朗読劇（350 万円）を行う費用であります。この他にも70周年記念事業は様々行う予定となっており、総額 4,767 万円となっています。詳細は『広報なめりかわ』4月号にも事業内容は記載してあります。

以上、簡単ではございますが、令和5年度一般会計の当初予算の一部内容をお伝えさせていただきました。この他にもお伝えしたいことがありますので、お声がけいただけたらと思います。また、皆様のご意見等も多くお聞きしたいと思っていますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

竹原正人 議員



議会で質問した内容

3月議会では、災害に対する備えについて、子育て支援について、市制70周年事業について、電気代高騰に対する対応について、空き家対策についての5つのテーマで質問をしました。特に今年1月28日の計画断水については、今後同様な事が起きないように再発防止に向けた当局の考えと、市内の漏水等の実際の被害状況について伺いました。また、今年度は滑川市制70周年の節目の年でもあり周年の冠を付けた様々な事業について、今後の当局の取り組みについて質問しました。そして、子育て支援策については、義務教育課程以降の高校生や大学生への支援について要望しました。

今年度の目標

コロナ前の生活に戻りつつある中、人とのコミュニケーションを大切にし、様々な課題解決に取り組んでいきます。

大浦豊貴 議員



議会で質問した内容

令和5年度より本市は、現在新川地域2市2町（黒部市や上市町等）と富山県からなる富山湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏に加盟します。観光圏の予算執行や事業は、把握しづらい面もあるなか、負担金を計上する以上、しっかりと成果を上げていただくよう意見致しました。また、厚生労働省の実施した「国民生活基礎調査」での子どもの貧困に対し、国の調査結果を基準に事業構築するのではなく、市の実態を正確に把握する必要性や、ひとり親世帯や子どもの状況に係る貧困について事業の見直しを含め、質問を行いました。

今年度の目標

物価や燃料価格の高騰による市民生活への影響を注視し、生活の安定を図る必要性が発生した場合に公正な負担の軽減を迅速に実施できるよう、行政と議論を行い支援策の構築を図ります。

谷崎潤一 議員



議会で質問した内容

3月議会ではまず、滑川市版SDGs推進事業における目標7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」の取組、滑川市における脱炭素社会にむけた取組や方針、そして、ゼロカーボンシティ宣言について、富山県内の市町村が続々と表明している中、滑川市では準備をしているのかを質問しました。ハードルが高い案件ではあるが、計画をしっかりと立てたうえで実施していくとの答えでありました。また、地域おこし協力隊について、大手芸能事務所と提携してみてもどうかと提案してみたところ前向きに調査・検討してみるところでした。

今年度の目標

脱炭素社会へ向けた滑川市にマッチする、低コストで今すぐ取り組むことの出来るカーボンニュートラルの提案、中長期で取り組む再生可能エネルギーの利用を提案していきたいと思います。また、滑川市内小中学校および不登校児童生徒に対する学び育む環境の整備、勤務する教職員の働き方改革など、引き続き今年度も提案してまいります。

吉森真人 議員



議会で質問した内容

3月議会では大きく4つについて質問をしました。①「DX推進について」、本年度から本格的に予算化され、多額の費用が経常的にかかることとなります。計画がしっかりしていない場合、今後の市の運営（財政、サービス共に）にも関わってきます。提出されたDX推進計画では詳細がわからないことを指摘し、詳細な事業内容を示していただくことをお願いしました。②「滑川市版SDGsについて」、SDGs未来都市として選定されなければSDGsが進まないのはおかしいと伝え、より市民への定着に向けて提案をさせていただきました。③「ICT教育について」、タブレットの更なる活用、プログラミング大会開催の提案およびICT教育のための教員の育成に関して質問しました。④「『すべらない街 滑川市』について」キャッチコピーの新たな活用に関して提案させていただきました。

今年度の目標

今年度より新たに庁内外に対してDXの支援を行うDX推進課が誕生しました。DXに関わる予算の適正及び推進に対する方向性などをしっかり見ていきます。

安達真隆 議員



議会で質問した内容

3月議会では大きく4つの質問をしました。公共施設には現在、光熱費の増額分を市が補填しています。その中で利用料は適しているのか質問しました。見直しは必要だが、物価高騰のさなか利用料を上げることは、慎重にならざるを得ないと回答をいただきました。また市職員の服装について、制服を支給していない中でも市職員としてわかりやすい工夫が必要なのではと質問し、服装の統一は職員の個性を埋没させ個々の能力の発揮や自由な発言を妨げる可能性があることから、名札の着用徹底で対応すると回答を得ました。学校ICT環境整備については、遅刻欠席連絡をアプリで出来るようにすると言われたがいつからできるのかと質問し、4月1日から運用できると回答いただいたところであります。

今年度の目標

地域公共交通の発展について、本定例会で小型バスの導入が予算化されており今後の配置など進捗を注視致します。

青山幸生 議員



議会で質問した内容

3月議会では①学力向上について②市民サービス向上について③市の財政状況についてを質問しました。詳細については読解力向上研究推進事業費の内容を確認した後、授業の改善と推進を促しました。また公開型GISによる情報公開および町内会運営アプリ「結ネット」についての導入計画を質問し、GISについては年度内の運用開始に向けてシステム構築をし、結ネットについては試験的に運用していた2町内会から30町内会に増やしていくとの答弁を得ました。また市の財政状況については、公会計と企業会計の違いを問いただし、貸借対照表の見方を民間に沿った指標にすることを要望致しました。今後も市民の皆様によりわかりやすく、身近な財務諸表になるようアイデアを出して行きたいと思っています。

今年度の目標

滑川中学校駐車場整備事業費 1,900 万円の工事着工と進捗を注視します。また官民連携事業となる「メリカ」および「海浜公園キャンプ場」が適切に運営されているか現地と数字の両面をチェックし、より良いものにしていきます。